



広報ながしま

**NAGASHIMA**

Public Relations

長島

8

2017 AUGUST

平成29年8月

No.137

わくわくときどき 科学教室 in 長島

わくわくドキドキ

7月29日、30日の2日間、町開発総合センターと町文化ホールで、町内の小中学生を対象に、「わくわくときどき科学教室 in 長島」が開催されました。(関連記事=P2)



# 長島の「夏」満喫

## 科学の楽しさを味わう

くわくわくどきどき科学教室 in 長島

「見て・触って・作る」科学の楽しさを伝える「わくわくどきどき科学教室 in 長島」が7月29日は町開発総合センターで、30日は町文化ホールで2日間にわたり開催されました。

今回の教室では、17の実験コーナーを準備。町内小中学校をはじめ、出水高等学校、鶴翔高等学校、鹿児島大学教育学部の生徒や先生が、工夫を凝らしたさまざまな実験を通して、訪れた子どもたちに科学の面白さを伝えていました。



↑鷹巣中学校のロボコンチームも出展



↑ LED キーホルダーを作る参加者

今年の1月に本町と包括的連携協定を結んだ国立大学法人長岡技術科学大学（新潟県）と独立行政法人国立高等専門学校機構鹿児島工業高等専門学校（霧島市）も、専門的な知識を生かした9つの実験コーナーを設けていました。

空気とヘリウムガスの重さの違いを利用した風船の実験では、ヘリウムガスを入れた風船に人がつかまると、軽々と宙に浮き上がりました。多くの子どもたちは、科学の面白さを体感していました。

今回の科学教室に講師として参加した長岡技術科学大学の山口隆司教授は「同大学ではこれまでも出前授業などは行っていた。今回の連携協定期に長島町の子どもたちに科学の楽しさを伝えていけたら」と話していました。

今回の教室に参加した宮内優希さん（川床小2年）は「風車作りが楽しかった。風船で浮いたのはちょっと怖かったけど、たくさんの実験ができて楽しかった」と笑顔で答えました。

7月下旬、小中学校が夏休みに入るとともに、長島の「夏」が到来。各イベントが催され、子どもたちをはじめ、町民、観光客が長島の「夏」を満喫しました。

## 協力することの大切さ学ぶ

くふるさと学び舎 in 長島

長島町子ども会育成連絡協議会と長島町教育委員会が主催する「長島ふるさと学び舎 in 長島」が7月27日から1泊2日で開催されました。

体験活動では「ダンボールハウス製作」や「磯遊び」「星空観察会」「カヌー体験」など2日間にわたりさまざまな活動を行いました。長島に住んでいながら磯遊びの経験があまりなかった子どもたちも、自分たちの食材を得るために貝や小魚など、たくさんのお魚を確保しようと頑張る、夏の暑さにも負けず全員が元気いっぱい活動していました。

活動を終えた子どもたちは「町内にたくさんさんの友達ができてよかった」「自分たちで食材を獲って作った夕食がおいしかったのでまた家でも作りたい」など満足した様子でした。参加した子どもたちは、ジュニア・リーダーとして地域の活動でこの体験を生かしていくことでしょう。



↑みんなで食べるご飯は格別



↑磯遊びで今日の食材探し